

信楽園病院後期研修プログラム

信楽園病院臨床研修管理委員会

はじめに本プログラムは、初期研修（卒後2年間）終了後の医師を対象とし、内科専門医、内科各サブスペシャリティー専門医を目指すために行われる内科系研修プログラムである。

1. 対象者

以下のいずれかに該当する方

- ・総合内科医やプライマリ・ケア医志望の方
- ・内科系診療科をローテーションして、専攻科を決定したいと考えている方
- ・専攻科を決めてはいるが、内科系ローテーションをして研鑽したいと考えている方（入局先が決まっている場合は医局の同意を必要とします。）
- ・他科を考えているが、後期では内科系をローテーションして実力を磨きたい方

2. 研修期間

3年（原則）

3. 募集人員

若干名

4. 概要

卒後1～2年目：初期研修

卒後3～4年目：原則として信楽園病院で内科後期研修を行います。4年目に日本内科学会認定内科医試験を受験します。

卒後5年目：原則として信楽園病院でさらに内科臨床の研修を行います。

卒後6年目以降：本プログラム終了後は、本人と病院との間で今後の進路を協議します。進路は以下が考えられます。

- ① 信楽園病院で内科臨床基礎研修を継続して行う。
- ② 新潟大学大学院に入学し、臨床研修を続けながら学位取得のための研究を行う。
- ③ その他

【概要図】

初期研修		信楽園病院後期研修プログラム			サブスペシャリティー研修		
					各医師の希望、目標、状況に応じて研修内容を決めます。		
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目

↑
医師国家試験

↑
認定内科医試験

↑
内科医専門医試験

5. 処遇

信楽園病院正規職員として雇用いたします。給与概算は、下記のとおりです。

卒後3年目（後期研修1年目）：年額 9,800,000円

卒後4年目（後期研修2年目）：年額 10,200,000円

卒後5年目（後期研修3年目）：年額 10,600,000円

通勤手当、医師緊急特別手当、医師特別手当、宿日直手当、住居手当他有り

賞与：年2回（平成20年実績4.5ヶ月分支給）

休日：週休2日（年間119日）、年次有給休暇（年間20日※時間単位での取得可）

その他特別休暇有（産前産後、育児、冠婚葬祭、リフレッシュ、子の看護等）

社会保険：協会健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

医師賠償責任保険：施設加入

学会費：病院負担（上限有り）

6. コース

①内科全般修練コース

2年間を通じて腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科を含む内科全般の研修を行う。

卒後1、2年目	卒後3、4年目	卒後5年目	卒後6年目以降
初期臨床研修	信楽園病院内科後期研修 2年間内科全般を研修	信楽園病院内科後期研修 内科系専門医コース	・継続研修 ・大学入局 他

【モデルケース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	腎臓内科			糖尿病・内分泌内科			呼吸器内科					
4年目	循環器内科			消化器内科			神経内科					
5年目	選択											

②専門内科選択コース

1年間の内科全般研修に引き続き、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科のうち、いずれかの診療科を6ヶ月～1年間選択的に修練する。

卒後1、2年目	卒後3、4年目	卒後5年目	卒後6年目以降
初期臨床研修	信楽園病院内科後期研修		信楽園病院内科後期研修 内科系専門医コース
	内科全般研修	専門領域研修	

【モデルケース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	消化器		糖尿・内分		腎臓		神経内科		呼吸器		循環器	
4年目	選択											
5年目	選択											

7. 後期研修の到達目標

(1) 目標

患者を全人的に診ることのできるバランスのとれた臨床内科医を目指し、的確な診断・治療方針決定を可能にする知識・技術及び合理的な思考体系を体得させ、地域への良医の定着を図る。

(2) 目的

- ①内科医としてすべての内科救急疾患、急性疾患、慢性疾患に対応できる知識と経験を持つ優秀な内科医の育成
- ②その後の内科系サブスペシャリティの選択に役立ち、継続性のある研修
- ③日本内科学会認定医取得
- ③内科系学会専門医、日本内科学会認定専門医取得への課程としての研修

8. 信楽園病院後期研修の特徴

- (1) 全病床 337 床を持つ当院は、常時病床利用率が 90%前後を維持しており、ほぼ満床の状態であるため、年間を通じて多くの症例が経験できる。
- (2) 腎臓、呼吸器、消化器、循環器、糖尿病・内分泌、神経内科の各専門領域における高度医療を含めた専門診療から、日常多く経験する一般的疾患の病材が極めて豊富である。
- (3) 各領域間の連携が密接であることから、複数の問題を有する症例などでの診療が円滑であり、これらによる研修が同時並行で可能である。
- (4) 内科全般研修において、初期研修の段階で経験が充分でない領域の研修を集中的に行うなど、弾力的な研修が可能である。
- (5) 新潟市二次輪番病院群に参加しており、救急症例と重症症例の集中治療の研修も多く経験することができる。
- (6) 上級医とともに初期研修医の指導にあたることを通じて、自らの知識の整理と同時に医学教育の手法を学ぶことができる。
- (7) 新潟大学医歯学総合病院との連携があり、信楽園病院での研修終了後の進路選択が容易である。
- (8) 希望により外科、脳神経外科へのローテーションも可能である。

9. 認定医、専門医取得

信楽園病院は下記の教育研修指定を受けている。

- ・日本内科学会 教育病院
- ・日本腎臓学会 研修施設
- ・日本透析医学会 認定施設
- ・日本呼吸器学会 認定施設
- ・日本感染症学会 認定施設
- ・日本消化器病学会 認定施設
- ・日本循環器学会 循環器専門医研修施設及び大規模臨床試験参画施設
- ・日本心血管インターベンション学会 研修関連施設
- ・日本神経学会 教育関連施設
- ・日本脳卒中学会 認定研修教育病院
- ・日本プライマリケア学会 認定医研修施設
- ・日本外科学会 外科専門医制度関連施設
- ・日本脳神経外科学会 専門医指定訓練場所
- ・日本栄養療法推進協議会 N S T 稼動施設

・日本病態栄養学会 栄養管理・NST実施施設

※信楽園病院での1年間の内科後期研修修了で日本内科学会認定内科医受験資格が取得可能です。

10. 各領域での行動目標・修得すべき手技等

(1) 腎臓内科

経験すべき疾患（抜粋）

急性腎不全、慢性腎不全、透析導入、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎等

経験すべき専門検査（抜粋）

腎生検、尿一般検査の解釈、透析管理等

経験すべき専門治療（抜粋）

降圧剤や利尿剤の使用、腎不全合併症の治療、透析治療等

(2) 呼吸器内科

経験すべき疾患（抜粋）

市中肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺結核、肺癌、睡眠時無呼吸症候群等

経験すべき専門検査（抜粋）

胸部X線、CT画像の読影、胸水穿刺、気管支鏡検査、グラム染色、呼吸機能検査等

経験すべき専門治療（抜粋）

抗菌薬治療、喘息やCOPD管理、一般的な抗癌剤の使用等、人工呼吸器管理、CPAP療法

(3) 消化器内科

経験すべき疾患（抜粋）

胃十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患、胃・大腸癌、急性感染性腸炎、急性肝炎、肝硬変、食道静脈瘤、肝胆膵系癌、胆道系感染症、急性膵炎等

経験すべき専門検査（抜粋）

腹部エコー検査、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡等

経験すべき専門治療（抜粋）

消化管出血の急性期治療、肝硬変合併症の治療、急性膵炎の管理等

(4) 循環器内科

経験すべき疾患（抜粋）

急性心筋梗塞、狭心症、不整脈、心不全、肺塞栓等

経験すべき専門検査（抜粋）

冠動脈カテーテル検査、心エコー検査、トレッドミル検査、心電図読影等

経験すべき専門治療（抜粋）

急性期心筋梗塞の一般治療、心不全管理、不整脈等

(5) 糖尿病・内分泌内科

経験すべき疾患（抜粋）

糖尿病、インスリン導入、DKA、甲状腺疾患、ホルモン異常症等

経験すべき専門検査（抜粋）

75gOGTTや各種ホルモン負荷試験、甲状腺吸引細胞診等

経験すべき専門治療（抜粋）

インスリン導入、低血糖治療、DKAの初期治療、甲状腺疾患の治療、ホルモン補充療法等

(6) 神経内科

経験すべき疾患 (抜粋)

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、パーキンソン病、多発性硬化症、髄膜炎、
脳炎、重症筋無力症、脊髄小脳変性症、ギランバレー症候群、末梢神経疾患等
経験すべき専門検査 (抜粋)

脳CT、MRI 読影、腰椎穿刺、筋電図等

経験すべき専門治療 (抜粋)

急性期脳梗塞治療 (t-PA 含む)、変性疾患の治療等

11. 研修終了後の進路

研修終了後の進路は、原則4年次に指導医と協議していただきます。各研修医が希望する進路に対して病院側も最大限バックアップいたします。なお、具体的な進路は以下が考えられます。

① 当院に就職

② 専攻先の医局入局、大学院入学 (希望がある場合は当該科長が仲介いたします。)

③ 他の医療機関で研修 (各自が研修先を決定し、専門医修得を目指します。)

12. 指導スタッフ

研修管理統括責任者

宮崎 滋 (副院長：腎臓内科)

各診療科 研修管理責任者

腎臓内科	島田 久基 (腎臓内科部長)
呼吸器内科	川崎 聡 (呼吸器内科副部長)
消化器内科	森 茂紀 (消化器内科部長)
循環器内科	松原 琢 (診療副部長)
糖尿病・内分泌内科	高澤 哲也 (診療部長)
神経内科	田中 一 (神経内科部長)
外科	佐藤 攻 (副院長)
脳神経外科	伊藤 靖 (診療副部長)
放射線診断科	加村 毅 (放射線診断科部長)
病理診断科	森田 俊 (病理診断科医師)
麻酔科	和栗 紀子 (麻酔科医師)